

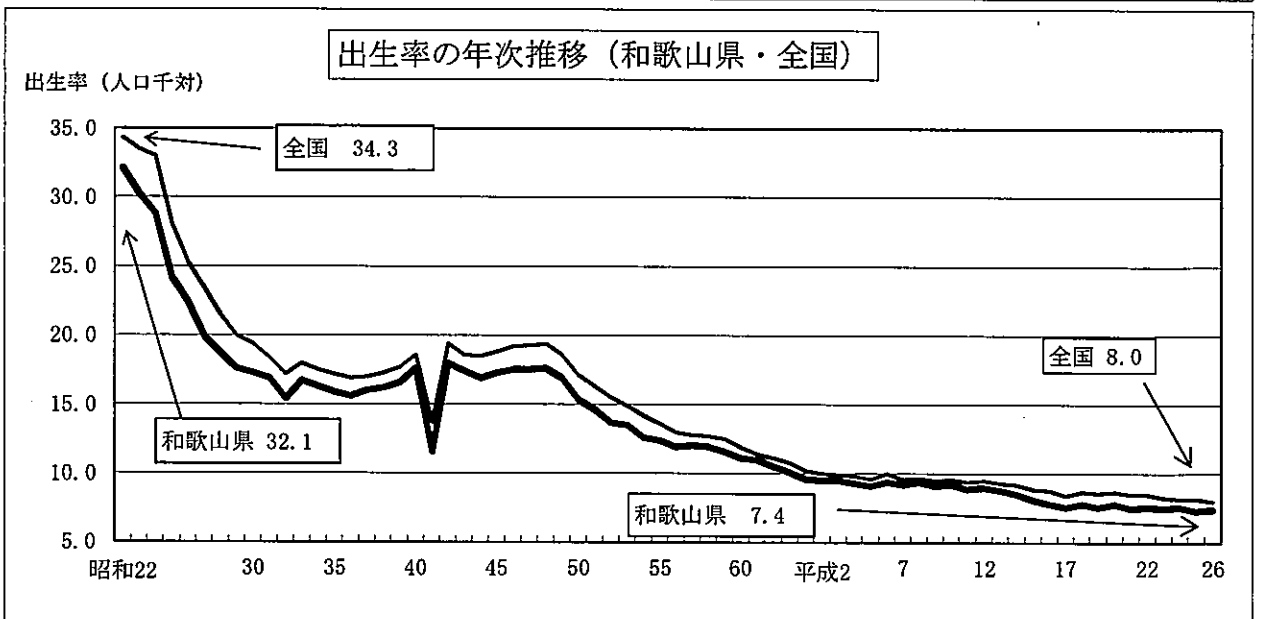
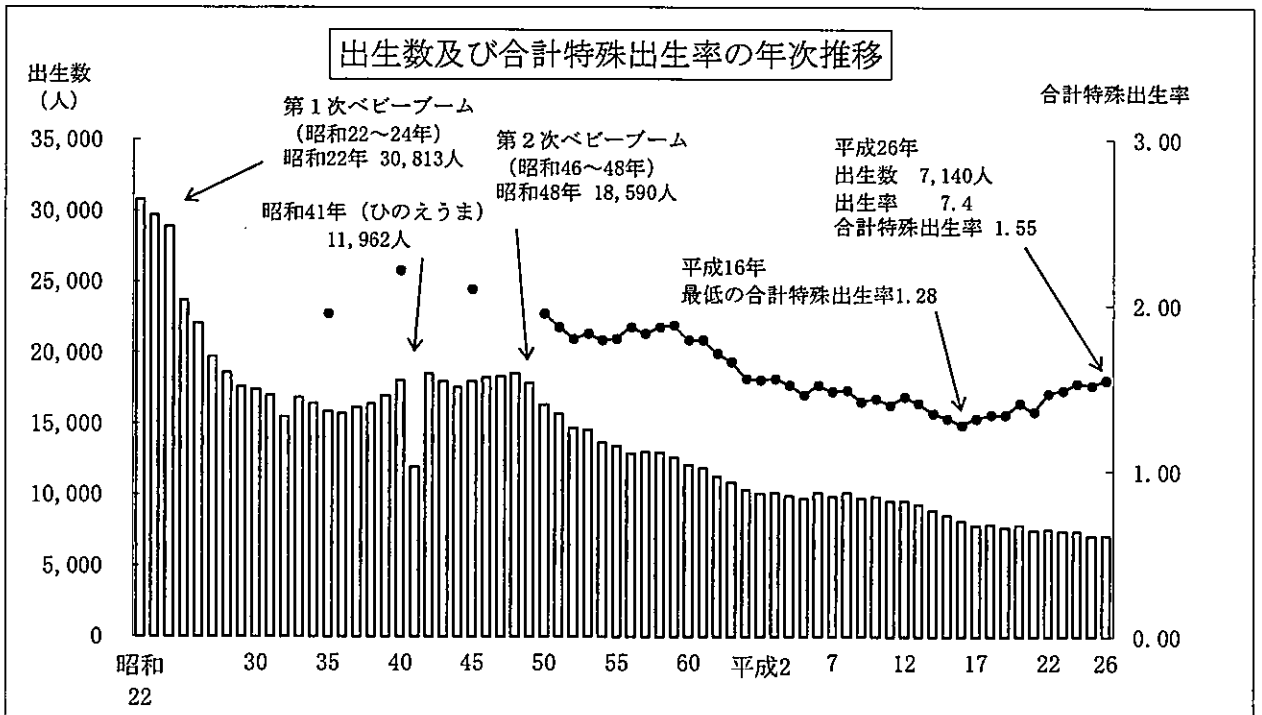
Ⅲ. 結果の概要

1 出生

平成 26 年の出生数は 7,140 人で、前年の 7,122 人より 18 人増加した。

出生率（人口千対）は 7.4 で、前年の 7.3 を上回った。また、合計特殊出生率は 1.55 で、前年の 1.52 を上回った。

昭和 50 年以降、出生数は減少を続け、平成に入ってから、増加と減少を繰り返しながら減少傾向にある。



次に、出生順位別の母の平均年齢をみると、第一子の母の出産年齢は29.7歳で、前年の29.6歳を0.1歳、第二子の母の出産年齢は31.7歳で前年の31.4歳を0.3歳、それぞれ上回った。第三子の母の出産年齢は32.8歳で前年の32.9歳を0.1歳下回った。

和歌山県は全国に比べ、いずれの出生順位においても母の平均年齢は低い状況にあるものの、ここ10年では和歌山県・全国とも、いずれの出生順位においても上昇傾向にあり、特に第一子・第二子の出産年齢の上昇が大きい。

出生順位別母の平均年齢（歳）（和歌山県）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
第一子	28.5	28.5	28.6	28.8	28.8	29.1	29.4	29.3	29.6	29.7
第二子	30.5	30.8	30.9	31.1	31.1	31.2	31.0	31.6	31.4	31.7
第三子	32.5	32.6	32.6	32.6	33.1	32.8	32.9	33.0	32.9	32.8

出生順位別母の平均年齢（歳）（全国）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
第一子	29.1	29.2	29.4	29.5	29.7	29.9	30.1	30.3	30.4	30.6
第二子	31.0	31.2	31.4	31.6	31.7	31.8	32.0	32.1	32.3	32.4
第三子	32.6	32.8	32.9	33.0	33.1	33.2	33.2	33.3	33.4	33.4

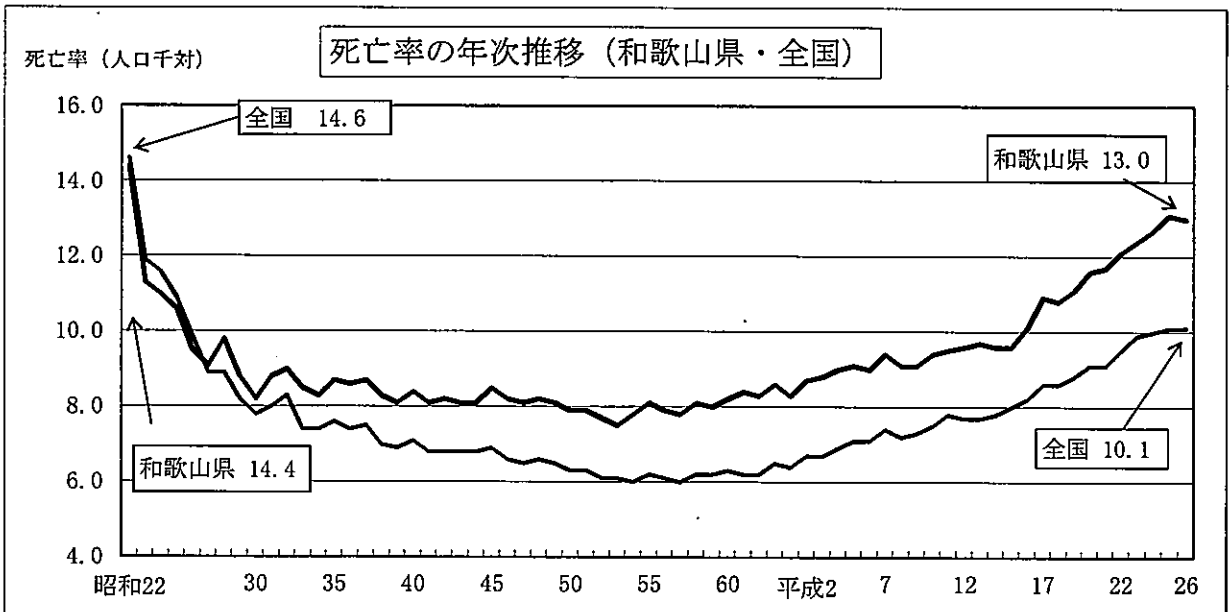
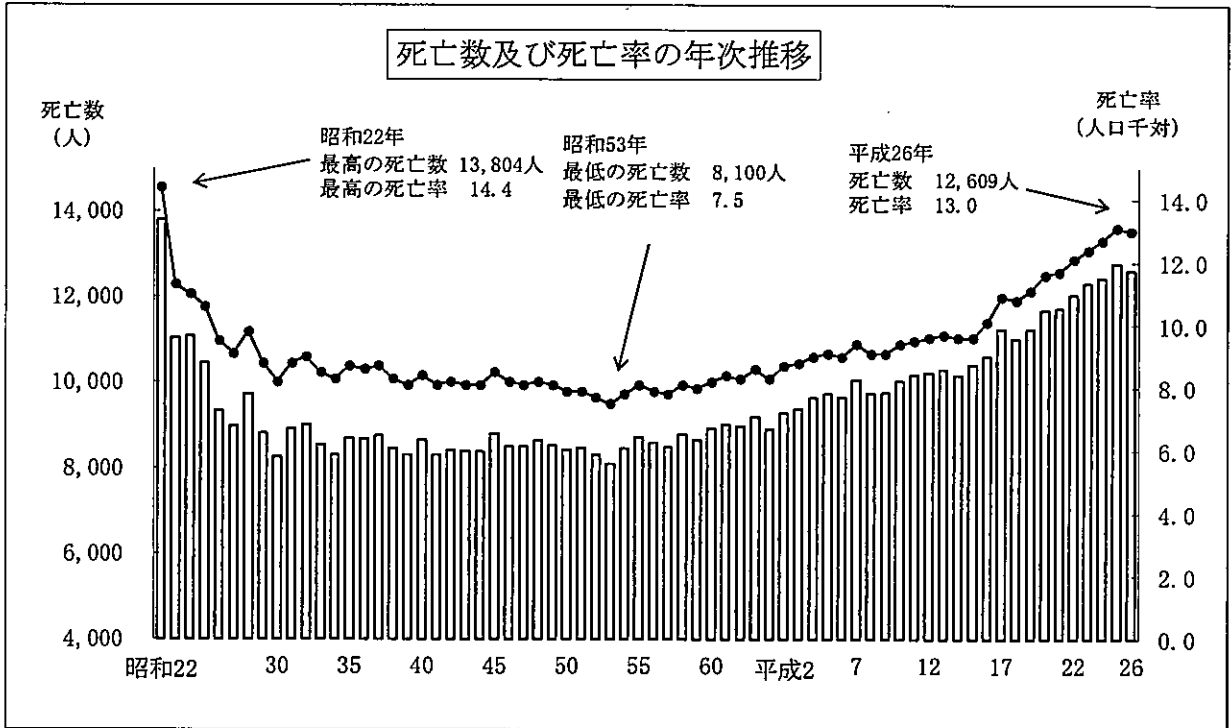
2 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成26年の死亡数は12,609人で、前年の12,773人より164人減少した。

死亡率（人口千対）は13.0で、前年の13.1を下回った。

昭和26年以降は8,000人前後で推移していたが、平成7年及び平成10年以降は1万人以上となり上昇傾向にある。



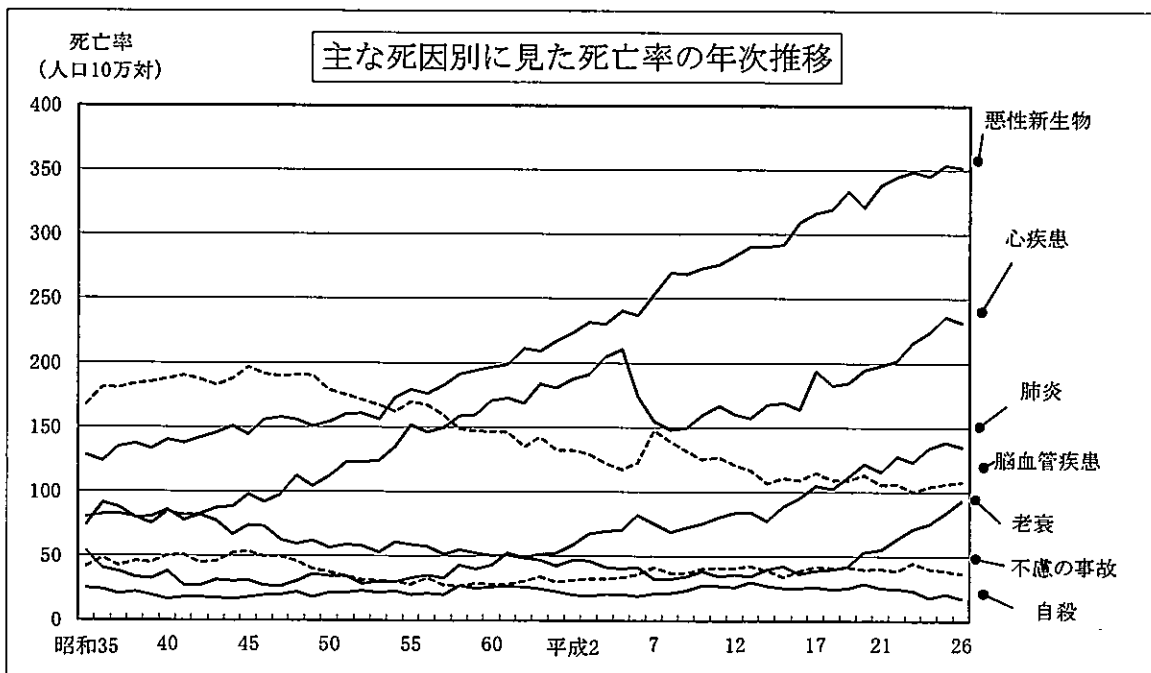
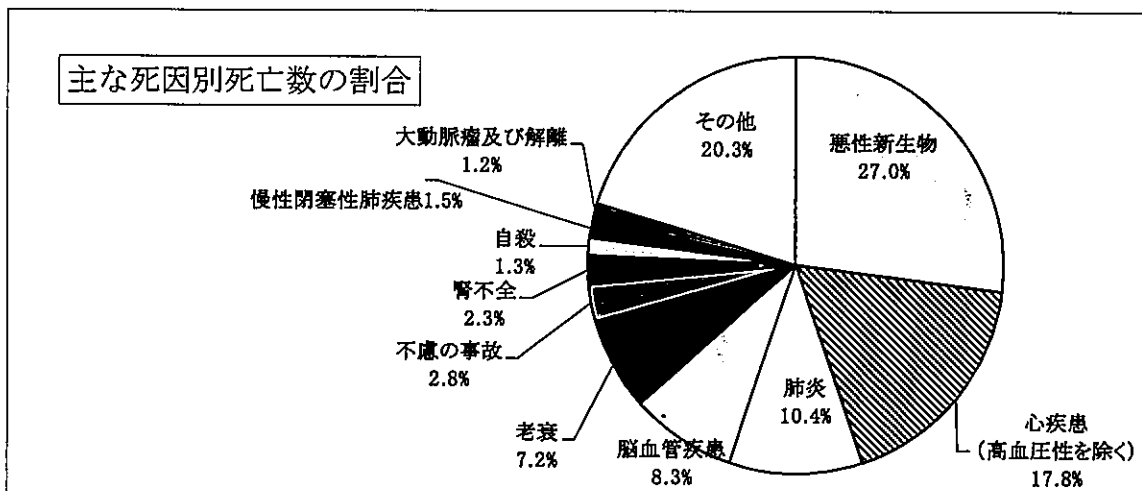
(2) 死因別死亡

死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患（高血圧性を除く）、第3位は肺炎であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ27.0%、17.8%、10.4%となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は、昭和54年以降第1位で上昇しており、平成26年の人口10万人当たり死亡率は352.2で、前年の353.9より1.7ポイント下がった。

心疾患（高血圧性を除く）は昭和58年に脳血管疾患に変わって第2位となり、増減はあるものの死亡数・死亡率とも上昇傾向にある。

肺炎は平成18年まで第4位であったが、平成19年からは脳血管疾患に変わって第3位となり、増減はあるものの上昇傾向にある。



次に、死亡数を死亡場所別にみると、悪性新生物では、1位「病院」2位「自宅」3位「診療所」となっている。自宅および老人ホームでの死亡者数は増加傾向にあるが、病院での死亡者数は横ばいとなっている。

心疾患では1位「病院」2位「自宅」3位「老人ホーム」となっており、診療所およびその他を除くいずれの場所での死亡者数も増加傾向にある。

脳血管疾患では、1位「病院」2位「老人ホーム」3位「自宅」となっており、病院での死亡者数はおおむね減少傾向にある。

悪性新生物による死亡者数（人）（和歌山県）

	総数	病院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	その他
H 1 7	3264	2826	70	10	31	309	18
H 1 8	3270	2821	81	8	34	315	11
H 1 9	3384	2885	75	14	35	359	16
H 2 0	3234	2749	80	13	32	341	19
H 2 1	3385	2893	100	11	29	336	16
H 2 2	3440	2870	85	20	50	386	29
H 2 3	3457	2967	62	16	49	341	22
H 2 4	3394	2870	75	20	52	346	31
H 2 5	3451	2810	94	29	63	429	26
H 2 6	3406	2745	80	23	62	457	39

心疾患による死亡者数（人）（和歌山県）

	総数	病院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	その他
H 1 7	1996	1280	75	38	81	492	30
H 1 8	1870	1169	48	47	84	471	51
H 1 9	1876	1212	54	39	81	464	26
H 2 0	1962	1210	54	50	96	520	32
H 2 1	1985	1231	75	40	112	492	35
H 2 2	2019	1260	72	45	100	501	41
H 2 3	2140	1313	59	54	108	574	32
H 2 4	2206	1355	67	49	131	556	48
H 2 5	2304	1465	75	63	130	535	36
H 2 6	2239	1345	73	68	134	576	43

脳血管疾患による死亡者数（人）（和歌山県）

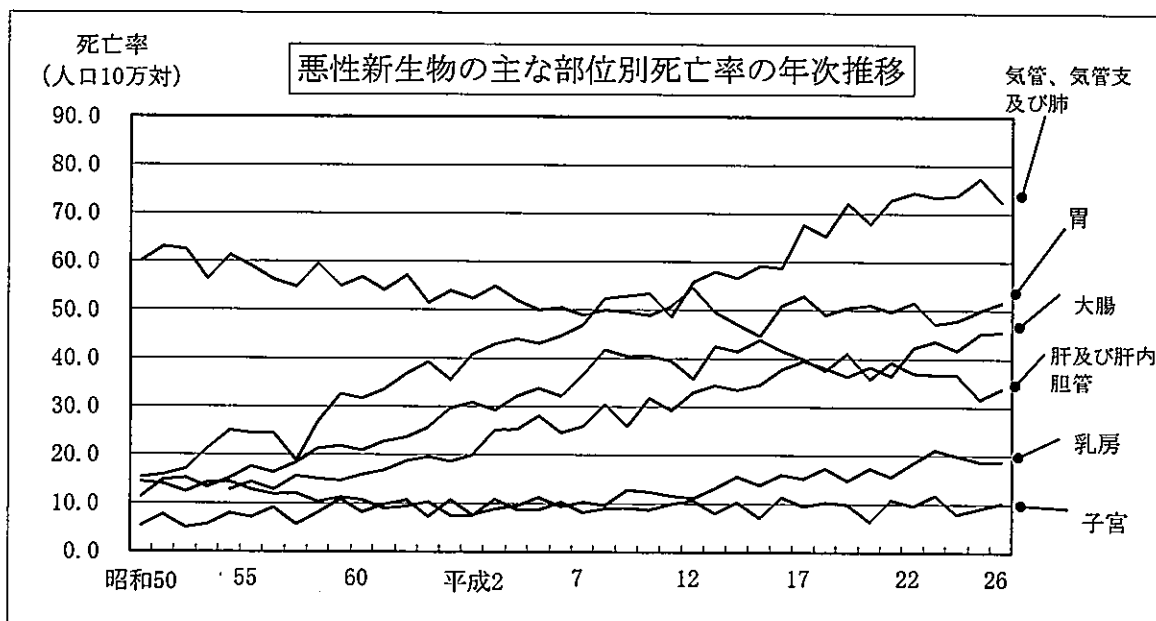
	総数	病院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	その他
H 1 7	1183	880	52	27	73	141	10
H 1 8	1121	854	39	30	64	127	7
H 1 9	1109	835	53	24	72	121	4
H 2 0	1140	865	41	20	86	120	8
H 2 1	1059	835	38	14	73	94	5
H 2 2	1060	809	39	20	58	122	12
H 2 3	996	745	44	28	75	97	7
H 2 4	1025	767	41	42	82	79	14
H 2 5	1037	750	49	39	100	85	14
H 2 6	1044	783	57	29	87	80	8

(3) 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物での死亡数は3,406人であり、前年の3,451人よりも45人減少した。

死亡率を部位別に見ると、1位「気管、気管支及び肺」2位「胃」3位「大腸」となっている。

「気管、気管支及び肺」は、平成8年にはじめて「胃」を上回り、平成11年を除き1位となっている。



注) ① 「大腸」は昭和54年からの分類である。

注) ② 「乳房」「子宮」は女性10万人対の死亡率である。

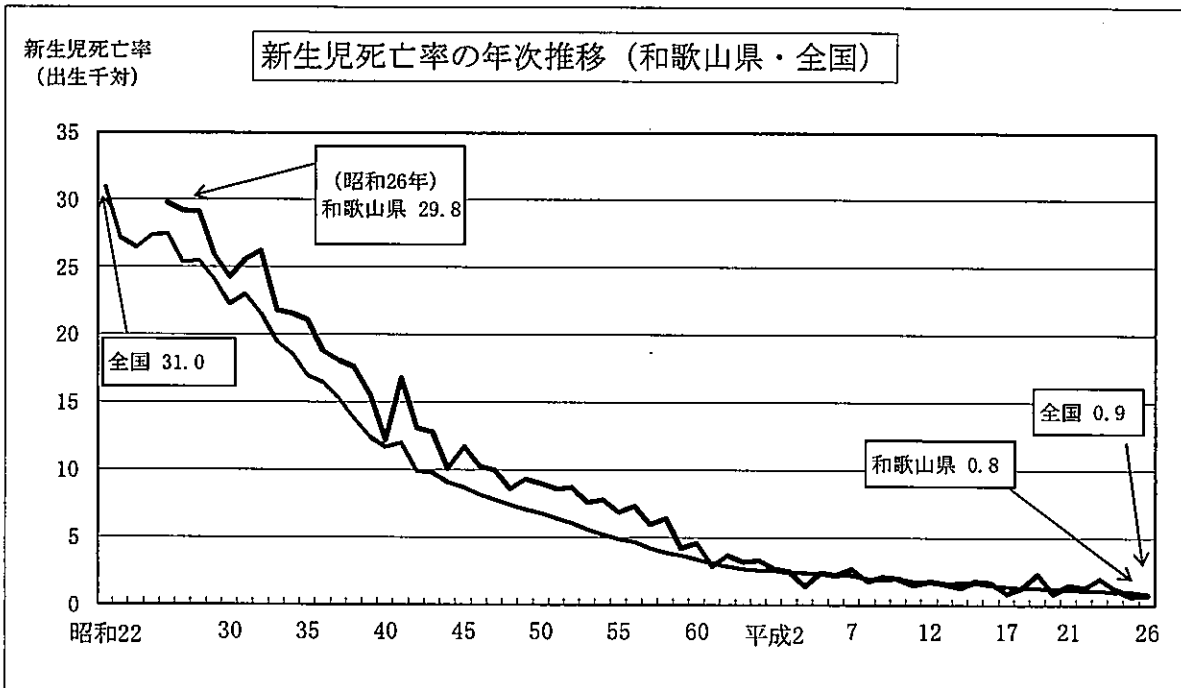
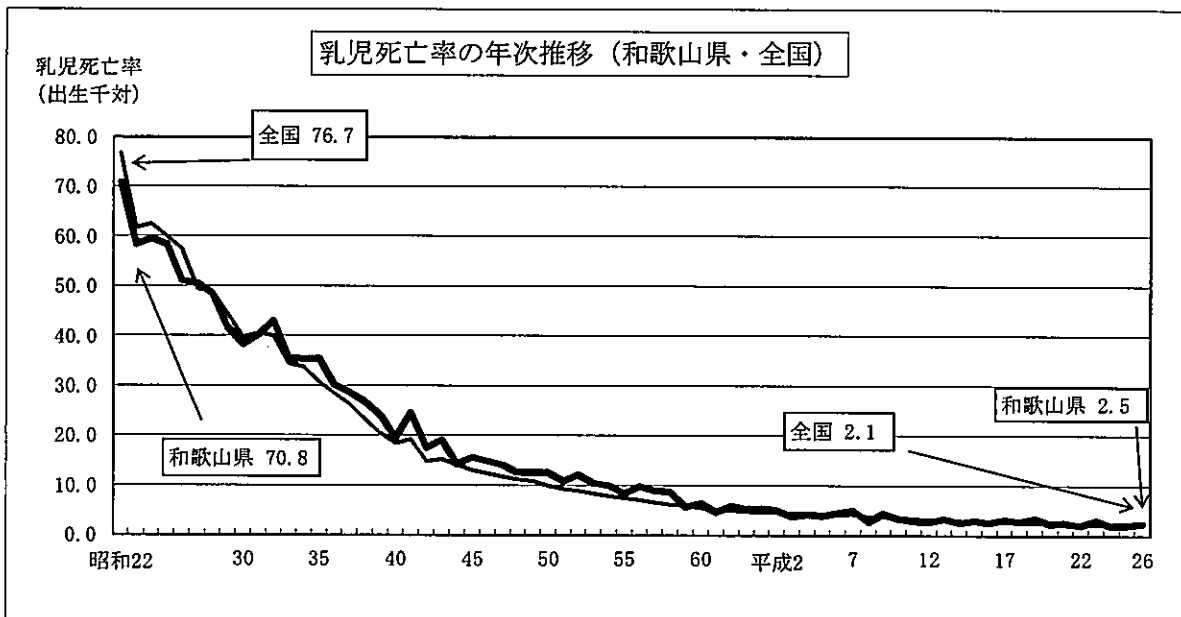
(4) 乳児死亡、新生児死亡

平成 26 年の乳児死亡数は 18 人で、前年の 15 人を上回った。

乳児死亡率（出生千対）は 2.5 で、前年の 2.1 を上回った。

また、平成 26 年の新生児死亡数は 6 人で、前年の 5 人より 1 人増加した。

新生児死亡率（出生千対）は 0.8 で、前年の 0.7 を上回った。

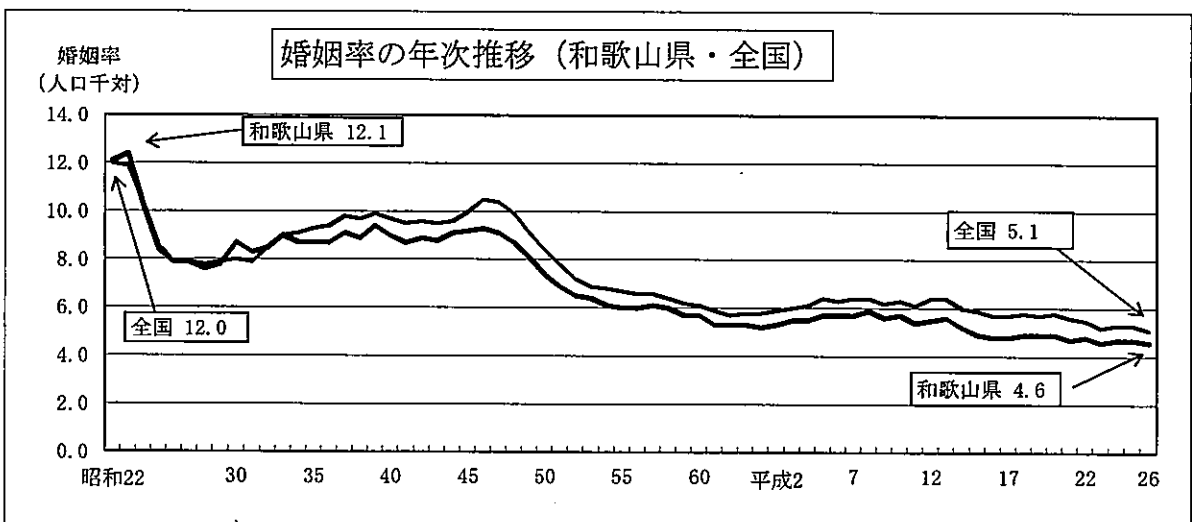
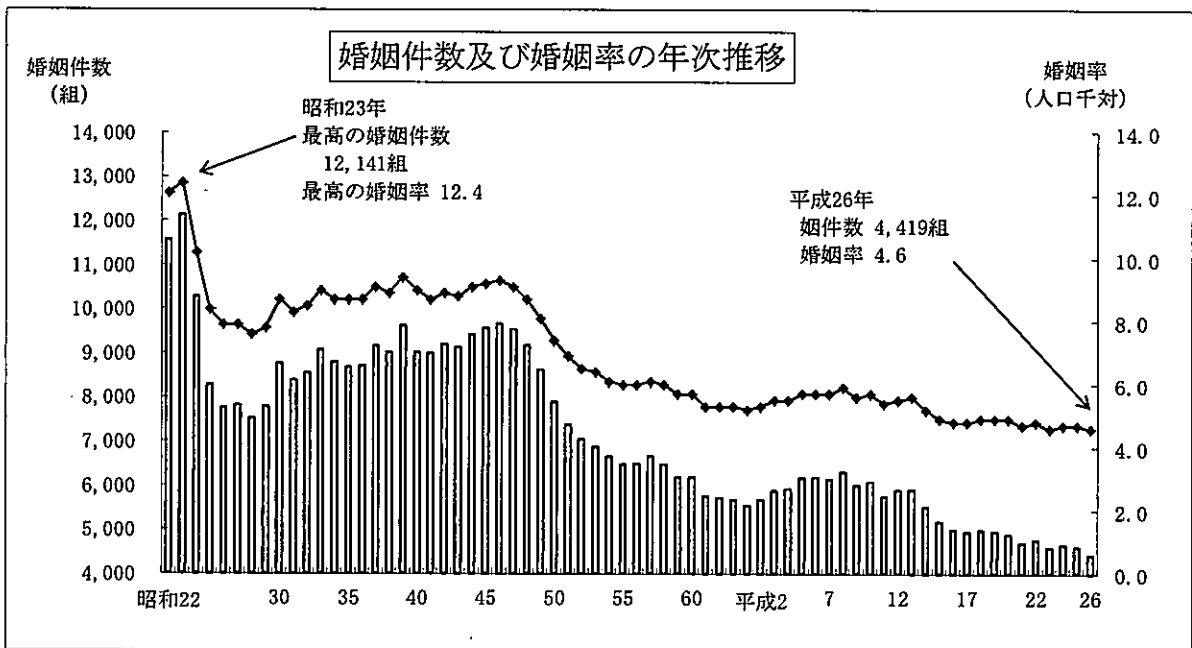


3 婚姻

平成26年の婚姻件数は4,419組で、前年の4,618組より199組減少した。

婚姻率（人口千対）は4.6で、前年の4.7を下回った。

昭和23年以降、婚姻件数は急激に減少し、昭和30年から40年代前半には9,000組前後で推移していたが、昭和46年以降は再び減少傾向となった。平成元年からは緩やかな増減を繰り返していたが、平成14年からは連続で減少し、平成18年は5年ぶりに増加した。しかしその後は減少し、平成22年以降は増加と減少を繰り返している。



次に、夫と妻の平均初婚年齢をみると、和歌山県の夫の平均初婚年齢は30.3歳で、前年の30.2歳を0.1歳上回った。妻の平均初婚年齢は28.8歳で前年の28.6歳を0.2歳上回った。

全国では、夫が30.1歳で前年より0.2歳、妻が29.4歳で前年より0.1歳、それぞれ上回った。

和歌山県・全国とも、夫および妻の平均初婚年齢は上昇傾向にあり、ここ10年では和歌山県の夫が1.2歳、和歌山県の妻が1.4歳、全国の夫が1.1歳、全国の妻が1.4歳、それぞれ上昇しているが、いずれの年においても、和歌山県は全国を下回っている状況である。

平均初婚年齢（夫）の推移（和歌山県、全国）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
和歌山県	29.1	29.2	29.3	29.5	29.7	29.7	29.9	30.0	30.2	30.3
全国	29.8	30.0	30.1	30.2	30.4	30.5	30.7	30.8	30.9	31.1

平均初婚年齢（妻）の推移（和歌山県、全国）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
和歌山県	27.4	27.6	27.7	27.7	28.1	28.2	28.4	28.6	28.6	28.8
全国	28.0	28.2	28.3	28.5	28.6	28.8	29.0	29.2	29.3	29.4

4 離婚

平成26年の離婚件数は1,914組で、前年の1,961組より47組減少した。

離婚率（人口千対）は1.98で、前年の2.01を下回った。

昭和37年以降、離婚件数は緩やかな増加を続け、昭和59年から減少するが、平成元年以降は急激に増加。平成14年をピークに減少傾向にある。

